



学校だより ウルムス

～友達を思いやり、友達とひびき合う心～

学校ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamariyaminami/>
代表メールアドレス ky-e-kamariyaminami@city.yokohama.jp

令和3年6月30日

7・8月号

横浜市立釜利谷南小学校

校長 田中 さくら

熱中症対策とマスク着用について

副校長 海邊 浩明

6月14日に関東甲信地方が梅雨入りをしたと気象庁が発表しました。これは、平年より1週間遅く、ここ10年で一番遅い梅雨入りだそうです。湿度が高く、じめじめと蒸し暑く不快な気持ちになるこの季節ですが、釜南の子どもたちは、数少ない晴れの日を楽しみにして、晴れた日には、校庭で元気いっぱいドッジボールや鬼ごっこなどをして遊ぶ姿がたくさん見られ、眺めているとこちらまで楽しくなってきます。

先日は、6年生数名が体力テストに向けて、記録を伸ばそうと自主的にランニングをしていました。日差しが強い中でランニング、汗もたくさんかきます。「マスクは外してね!」と声をかけると「ハイ!」と礼儀正しい受け答えとともにマスクをポケットにしまっていました。しかし、何故か時間が経つと外したはずのマスクを着用して走ろうとします。あわてて「熱中症になるといけないからマスクはしなくていいんだよ!」と声をかけると、照れたような笑顔でまた外していました。マスクを外すことにどこか後ろめたさのようなものを感じていたのかもしれませんが。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための新しい生活様式に慣れ、マスクを着用することが当たり前になっています。毎朝、ピロティで登校してくる児童を一人ひとり非接触型体温計で検温して様子を見ていますが、マスクを忘れてくる人は一人もいません。1年以上この生活が続いているので、子どもたちもマスクをすることに慣れていて、逆にマスクを外すことを不安に感じている人もいるのかもしれませんが。

横浜市教育委員会から出されている通知には、「気候の状況等により、熱中症などの健康被害が発生する可能性が高いと判断した場合、マスクを外すように指導してください」とあります。熱中症は命に関わる危険があることを踏まえて、熱中症への対応を優先させるように、ともあります。本校でも、暑い季節に入り、**体育の時間、休み時間の校庭、体育館での遊び中は、マスクを外すように指導をしていきます。**マスクを外すことに不安を感じている人にも、熱中症についての理解を高めるように指導をしていきます。また、人と十分距離が確保できるときは、マスクを外すように声を掛けています。是非、ご家庭でも、熱中症について話題に挙げ、マスクとうまく付き合っていくようにご指導をよろしくお願いします。

「GIGA開き」から1か月が経って

5月28日に「GIGA開き」を朝会で行い、1人1台のiPadを手渡してからちょうど1か月が経ちました。

保護者の方々から買っていただいたタッチペンも上手に使いこなして、iPadを活用した学習活動が、頻繁に行われるようになってきました。先日、校内の重点研究授業研究会がありましたが、低学年も高学年もiPadを慣れた様子で使い、自分の考えを整理したり、共有したりするツールとして活用していました。

1年生の算数の授業をのぞいてみると、計算問題をiPad上で行い、提出箱に入れて先生に送信しているのを見て驚きました。「すごいね!」と伝えると、「いつも使っているから、かんたんだよ」と、自慢げに話してくれました。

担任教諭から聞いた各学級でのiPad活用実践例を、いくつか挙げると・・・

- ・毎朝の健康観察を一人ひとりテキストに入力して先生のiPadに送っています。
- ・今日のめあてを決めるときに、ロイロノートのアンケート機能を使いました。
- ・係活動の振り返りをロイロノートで共有し、クラス全体で確認し合いました。
- ・算数科で、子どもたちが考えをiPadに入力して送信し、大型テレビの画面上にいくつか並べて比較して学習しました。
- ・社会科で地図や表の資料を、紙ではなくデータで配付して、iPad上で閲覧したり、書き込んだりして活用しました。



まだまだ使い始めなので、試行錯誤の部分もありますが、確実にスキルアップし、学習用具として定着しつつあります。破損しないように大切に扱うことも指導しています。ご家庭でも話題に挙げて、励ましてあげてください。